



下郷中だより

◇下郷中学校教育目標◇

「知性」「品格」「健康」

○教育目標達成の合言葉

「笑顔・あいさつ・思いやり・清掃」

No. 9 令和4年12月23日(金)

文責 下郷中学校長 我妻雄比古

「第2学期終了」

「光陰矢の如し」とはよく言ったもので、間もなく長丁場の2学期が終了しようとしています。振り返ってみますと、今学期は校内外において生徒たちの活躍の場が数多くあったように思います。7月から夏休み中に行われた県大会等では、県内の強豪チームと対戦し最後まであきらめることなく必死にプレーする姿に心被打れました。また、吹奏楽コンクールでは、堂々とした態度で心を込めた見事な演奏を魅せてくれました。9月には修学旅行や職場体験等があり、生徒一人一人が様々な体験を通して、心に残る貴重な経験を積むことができました。

10月の下中祭では、Best Performance～光溢れる下中祭～をテーマとして、全校生が同じ目標に向かって力を合わせ感動と笑顔の下中祭にすることができました。保護者の皆様には、観覧の制限や、感染予防の対策にご理解いただきありがとうございました。実り多い2学期でしたが、冬休みはクリスマスや正月で生活リズムや体調を崩しやすいので、健康には十分ご配慮いただきながら過ごすことができますようご家庭でのご指導をお願いいたします。

良い新年をお迎えください。



の行事予定

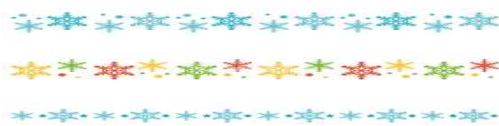
1	元旦 冬期休業日	11	県中体連スキー大会	21	
2		12	SC来校	22	
3		13	↓	23	朝会
4		14		24	3 年期末テスト
5		15		25	↓
6		16		26	生徒会総会要項審議
7		17	職員会議 ノー部	27	
8		18	生徒会専門委員会・部活動反省	28	
9		19		29	
10	3 学期始業式 明け・実力テスト ノー部	20	ノー部 第3回英語検定	30	
				31	

※ 新型コロナウイルス感染症の状況によっては変更になることがあります。

裏面もご覧ください

学校での活動の様子を随時ホームページでお知らせしています。是非ご覧下さい。
下郷町教育ポータルから検索 <https://shimogo.fcs.ed.jp/下郷中学校>

「いじめについて考える」



皆でよいクラスを作っていくことは、生徒全員の願いです。しかし、時には、それを拒むいじめが起こることがあります。私が以前勤務した学校で、ある生徒が言った忘れられない一言があります。

1学期のある日、クラスで事件が起きました。ある生徒の上履きに画びょうが入っていたのです。

誰がやったかわかりません。担任は生徒に「人の嫌がることはしてはいけない」と話し、生徒も分かってくれたように思いました。数日後、同じ生徒の持ち物に落書きされる事件が起きました。今度もやった者は名乗り出ません。困った担任は、こうしたクラスをどう思うのか。また、どうしたらこうしたことがなくなるのかについて生徒たちと話し合いました。忘れられない一言は、その話し合いの中で、ある生徒が口にしました。「いじめはいけないというけれど、いじめられる方にも理由があって、いじめている側が悪いとは限らないのではないか」。皆さんは、この言葉についてどう思うのでしょうか。

本来、学校は、全員の生徒が安心して楽しく生活できなければならない場所です。

また、皆さん一人一人は、安心して楽しい学校生活を送る権利を持っています。しかし、いじめは安心して楽しい学校生活を送るということをできなくさせてしまうのです。言い換えれば、いじめは人の安全や安心を脅かし、楽しい学校生活を送る権利を侵害する人権侵害とも言えます。いじめがいけない理由はここにあります。たとえ、嫌な発言や行為をした生徒がクラスにいたとしても、上履きの中に画びょうを置くといった一方的な方法で自分の思いを返すのでは、その問題の解決にはつながりません。

本当の解決は自分は相手にされた何が嫌だったのか、相手にどこを直して欲しいのかを勇気をもって伝え、互いの思いや要求を満たすことができる方法について話し合いながら調整をしていくことで初めて可能になると思います。毎日の学校生活では、友達との間に悩み事が起きることもあるでしょう。

生徒の皆さんには、相手と話し合う勇気と自分の気持ちを正しく伝えることのできる言葉の力を磨いてほしいと思っています。そのことが、安心して楽しいクラスを実現することにつながります。

本校の合言葉でもある「思いやり」そして勇気に期待しています。

